

# 令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

文化芸術課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県民文化センターふくやま		
所在地	福山市東桜町 1-21		
設置目的	県民の文化の振興に資する。		
施設・設備	ホール（530 席）、練習室（2 室）、文化交流室（1 室）、楽屋（4 室）		
指定管理者	5 期目	H28. 4. 1～R3. 3. 31	広島県民文化センターふくやま共同企業体
	4 期目	H25. 4. 1～H28. 3. 31	(株)不二ビルサービス
	3 期目	H23. 4. 1～H25. 3. 31	県民文化センターふくやま共同事業体
	2 期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	(財) 県民センター
	1 期目	H17. 4. 1～H20. 3. 31	(財) 県民センター

## 2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	ホール利用率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	5 期	R1		66.0%	62.4%	△7.4%	△3.6%
H30			65.0%	69.8%	9.7%	4.8%	(107.4%)
H29			64.0%	60.1%	12.9%	△3.9%	(93.9%)
H28			63.0%	47.2%	△7.7%	△15.8%	(74.9%)
4 期平均		H25～H27	58.0%	53.3%	1.6%	△4.7%	(91.8%)
3 期平均		H23～H24	58.2%	51.7%	0.5%	△6.5%	(88.8%)
2 期平均		H20～H22	58.6%	51.2%	△5.5%	△7.4%	(87.4%)
1 期平均		H17～H19	60.0%	56.7%	△0.7%	△3.3%	(94.5%)
	(導入前) H16	—	57.4%	—	—	—	
増減理由	2 月までは目標を上回っていたが、3 月以降は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響による利用のキャンセルが相次ぎ、最終的な稼働率は目標未達となった。						

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	<b>【実施方法】</b>	<b>【対象・人数】</b>
	利用者アンケート（受付にて用紙を配布・回収）	利用者（主催者）
	<b>【主な意見】</b>	<b>【その対応状況】</b>
	ロビー等の床（カーペット）を改修して欲しい。	カーペットの状態を確認し、安全性の確保に支障をきたす恐れがある部分について、至急改修工事を実施した。

## 4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報	—	
管理運営会議（随時・現地）	<b>【特記事項等】</b> ・地域の団体と連携した新規自主事業の積極展開 <b>【指定管理者の意見】</b> ・音楽団体や学校関係者の利用を想定した、ホール練習パックを打ち出した結果、実施月（9 月～12 月）において月間利用率が最大 11.1% 上昇した。 <b>【県の対応】</b> ・福山市近郊の学校に、ホール練習パックの利用案内を送付するなど広報活動に協力した。		
現地調査（随時実施）			

## 5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
県委託料 (決算額)	5期	R1	55,932	68	料金収入 (決算額)	5期	R1	30,664	△2,169
		H30	55,864	0			H30	32,833	1,422
		H29	55,864	△136			H29	31,411	2,450
		H28	56,000	△1,265			H28	28,961	△980
	4期平均	H25～H27	57,265	859		4期平均	H25～H27	29,941	2,014
	3期平均	H23～H24	56,406	△815		3期平均	H23～H24	27,927	△994
	2期平均	H20～H22	57,221	△4,774		2期平均	H20～H22	28,921	△266
	1期平均	H17～H19	61,995	△14,777		1期平均	H17～H19	29,187	△2,046
	(導入前)	H16	76,772	—		(導入前)	H16	31,233	—

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R1 決算額	H30 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収 入	県委託料	55,932	55,864	68	10月より消費税率変更(8%→10%)
		料金収入(※1)	30,664	32,833	△2,169	新型コロナウイルスの影響による収入減
		その他収入	3,966	4,630	△664	新型コロナウイルスの影響による収入減
		計(A)	90,562	93,327	△2,765	
	支 出	人件費	17,437	17,317	120	
		光熱水費	11,855	12,565	△710	新型コロナウイルスの影響による利用減に伴う経費減
		設備等保守点検費	1,925	1,908	17	
		清掃・警備費等	40,984	40,814	170	
		施設維持修繕費	7,008	7,553	△545	運営努力による経費減
		事務局費	3,078	3,219	△141	
		その他	3,725	3,249	476	
		計(B)	86,012	86,625	△613	
	収支①(A-B)		4,550	6,702	△2,152	
	自主事業 (※2)	収 入(C)	1,647	2,449	△802	高原価・低収益の事業を削減し、収益率の改善を図った。
		支 出(D)	5,635	7,272	△1,637	
収支②(C-D)		△3,988	△4,823	835		
合計収支(①+②)		562	1,879	△1,317		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。  
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	指定管理構成者の特性を生かし、音楽活動を中心とした自主事業を積極的に展開した。	指定管理者の持つ強みを生かした自主事業を展開し、稼働率の向上に努めた。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	新たな取組として、喜多流能楽師による公演を招致し、地域の学校や文化団体に働きかけ、高校生によるボランティアスタッフを登用するなど、地域の文化活動活性化に寄与した。	地域の学校や文化団体と積極的に連携し、県民が文化活動を行う機会を提供した。
	○業務の実施による、施設の利用促進	施設の老朽化に伴い、利用者から改修の要望等が上がっている。随時県と情報共有し、施設の維持管理に努めた。	施設の現状や利用者からの要望について、常に県と情報を共有し、適切な維持管理を行った。
	○施設の維持管理		
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	指定管理構成企業やその関連企業と連携し、利用促進に向けた広報活動を展開した。	利用促進に向けて共同企業体の構成企業と役割を分担し、一体的な組織体制で運営した。
	○効率的な業務運営	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が大幅に減少したが、運営努力により年間収支の黒字化を達成した。	新型コロナウイルス感染症により多大な影響を受けたが、運営努力により利益を確保した。
	○収支の適正		
総括		ホールの利用増加に向けた取り組みを行った結果、目標に対し順調な実績を上げていたが、新型コロナウイルスの影響を受け、最終的な稼働率は目標未達となった。	最終的な稼働率は目標未達となったが、新型コロナウイルスの影響を受ける1月までの稼働率は67.8%であり、目標を大幅に上回る実績を上げていた。

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和2年度)	ホール練習パック等、今年度新たに取り組んだ自主事業の拡大に努め、利用者の増加に向けて取り組む。	学校や各種団体等に対する広報活動の協力や、県所有の類似施設における優良事例を提供するなど、指定管理者と共に新たな利用者の増加に向けて取り組む。
中期的な対応	地域の各種団体と積極的に交流し、地域文化に係る公演を誘致することで、地域文化の活性化に寄与するとともに、施設の利用増加に努める。	県内各種団体と指定管理者の橋渡しを担う等、活動を支援し、指定管理者と協力して取り組みを進めていく。